

## 1. 葛城市の地域及び公共交通に関する現状

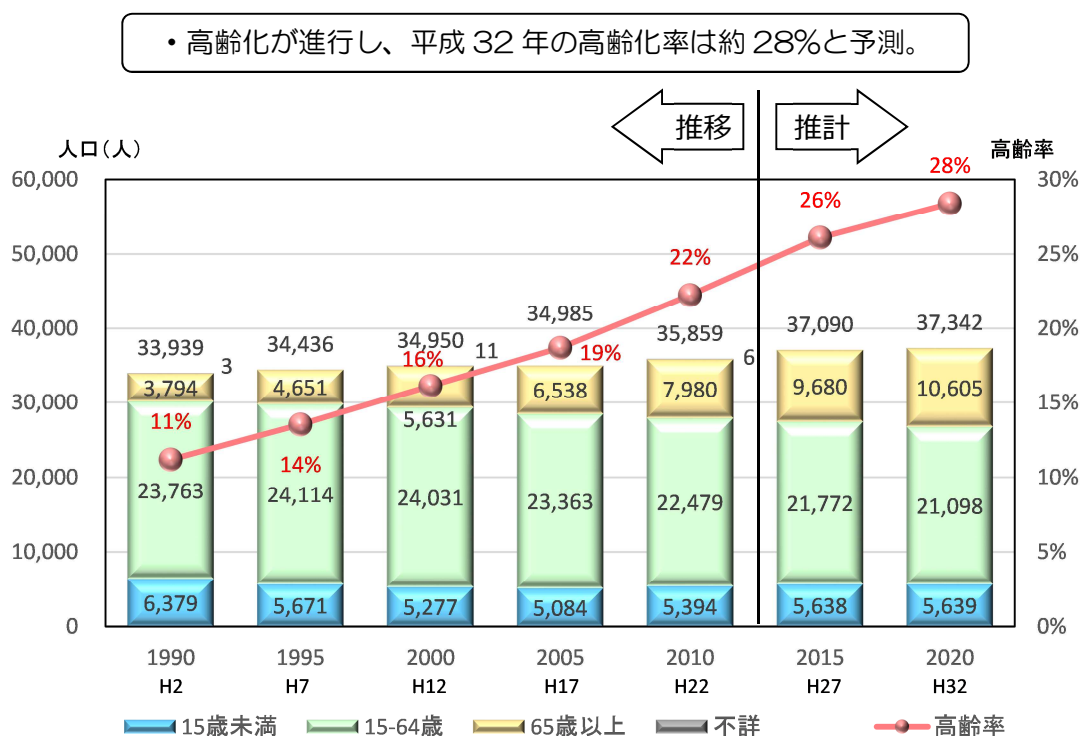
### 1.1. 地域の現状

#### 1.1.1. 人口特性

##### (1) 人口の推移

葛城市の人口は、平成 12 年以降、ほぼ横ばいで推移しており、平成 22 年は約 35,900 人となっている。今後の人口はやや増加傾向となり、平成 32 年の人口は約 37,300 人となることが予測されている。

一方、高齢化率は、平成 2 年以降上昇が続いており、平成 22 年で 22%、平成 32 年には 28% になると予測されている。



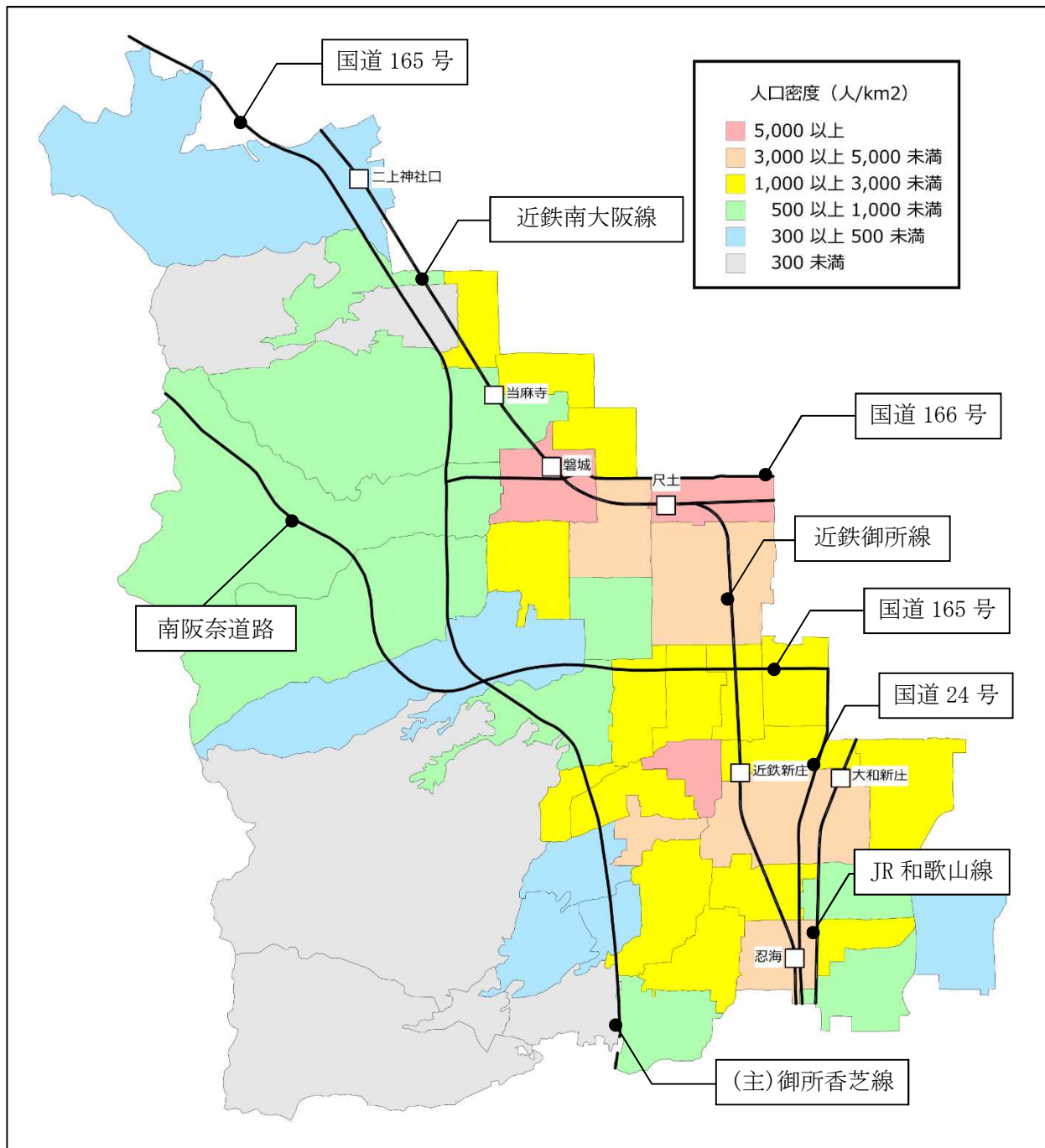
葛城市の年齢階層別人口の推移

出典：国勢調査（平成 2～22 年）

日本の地域別将来推計人口（国立社会保障・人口問題研究所、平成 25 年 3 月推計資料）及び住民基本台帳人口を参考に推計（平成 27～32 年）

## (2) 人口の分布

人口分布を見ると、近鉄尺土駅、近鉄磐城駅、近鉄新庄駅、近鉄忍海駅、及び JR 大和新庄駅周辺地区の人口密度が高い状況である。



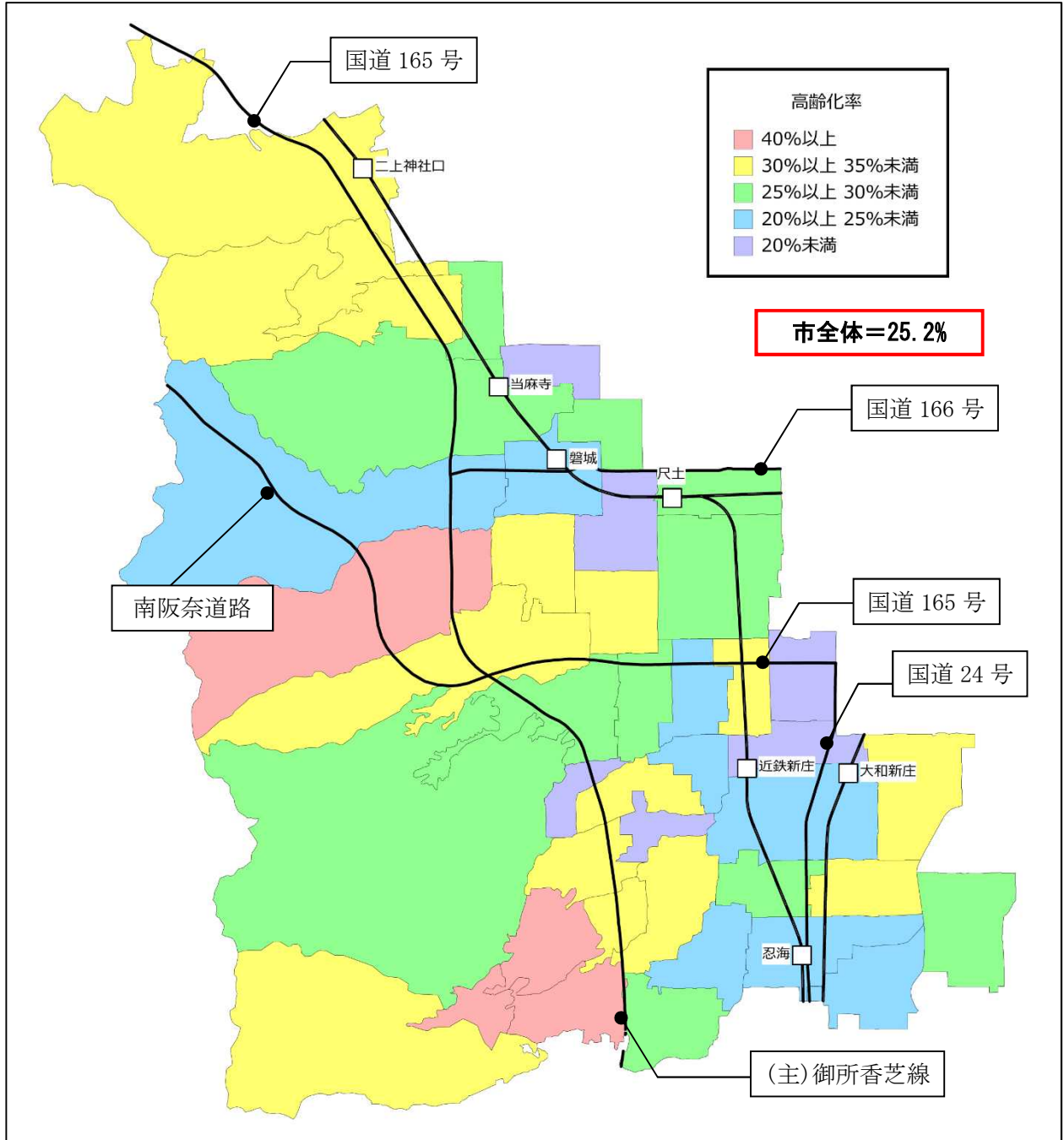
葛城市の地区別人口密度

出典：人口は葛城市住民基本台帳人口（H26.12.1 現在）  
面積は平成 22 年国勢調査

### (3) 高齢化の現状

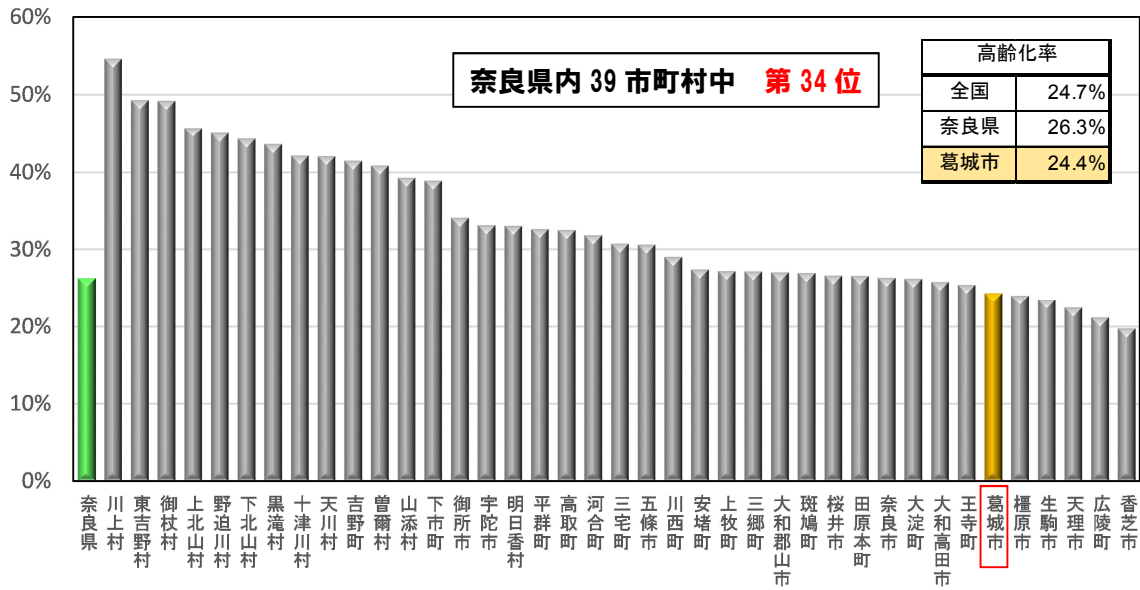
平成 26 年 12 月 1 日現在の市全体の高齢化率は 25.2%で、全国平均の 24.7%と同程度、奈良県平均の 26.3%よりは低い状況である。

また、市の奈良県内における市町村別高齢化率は 39 市町村中 34 番目と高くないが、地区別に高齢化状況を見ると、高齢化率 30%以上の地区が 4 割以上ある。特に、山側の御所香芝線沿線に高齢化率の高い地区が分布している。



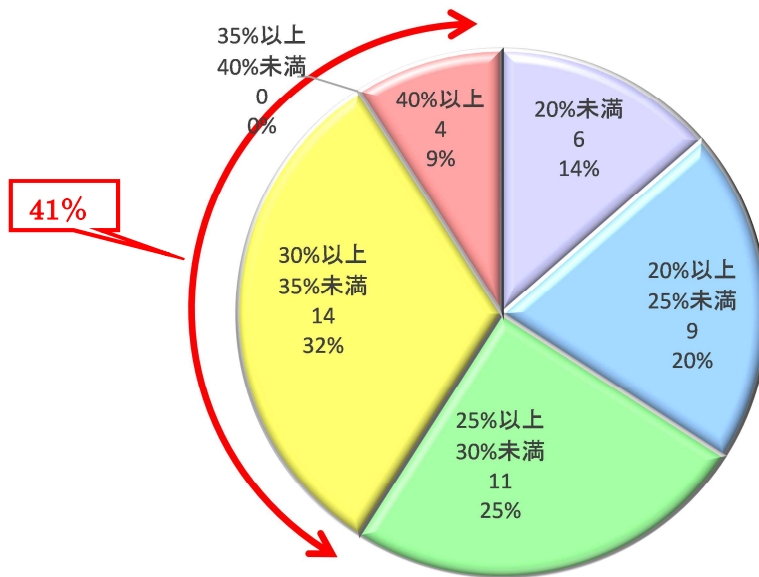
葛城市の地区別高齢化率

出典：葛城市住民基本台帳人口（H26.12.1 現在）



奈良県内の市町村別高齢化率

出典：住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数調査（H26.1.1 現在）  
 ※前頁の葛城市高齢化率と調査時点が異なる



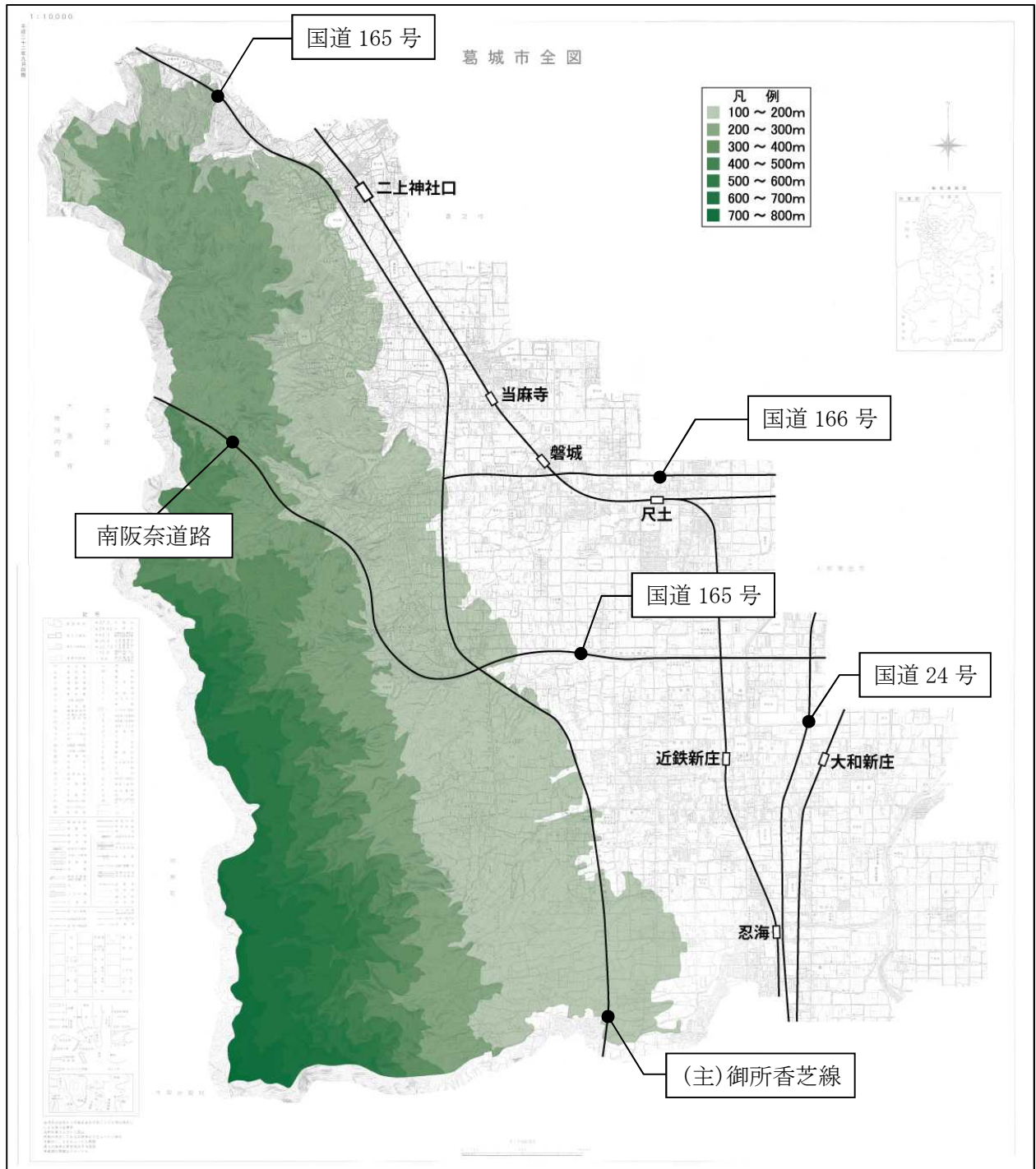
葛城市内の高齢化率別地区数の割合

（葛城市内 44 地区の高齢化率による地区数の分布）  
 出典：葛城市住民基本台帳人口（H26. 12. 1 現在）

## 1.1.2. 地理的特性

### (1) 地形の状況

葛城市は奈良盆地の南西部に位置し、南北軸である国道 165 号及び御所香芝線沿線より以東は緩やかな平地が広がっている。一方、国道 165 号及び御所香芝線より以西は、標高 517m (雄岳) の二上山や葛城山の山並みがあり、地形が急峻であるため、市の東側の平坦地に住宅地が分布している。また、山裾の比較的緩やかな斜面を切り開いて集落が形成されている。



## (2) 施設の分布状況

### ■ 公共施設

葛城市役所の新庄庁舎は近鉄新庄駅付近、當麻庁舎は近鉄磐城駅付近の国道166号沿線にあり、市内いずれの地域からもアクセス性は良い。

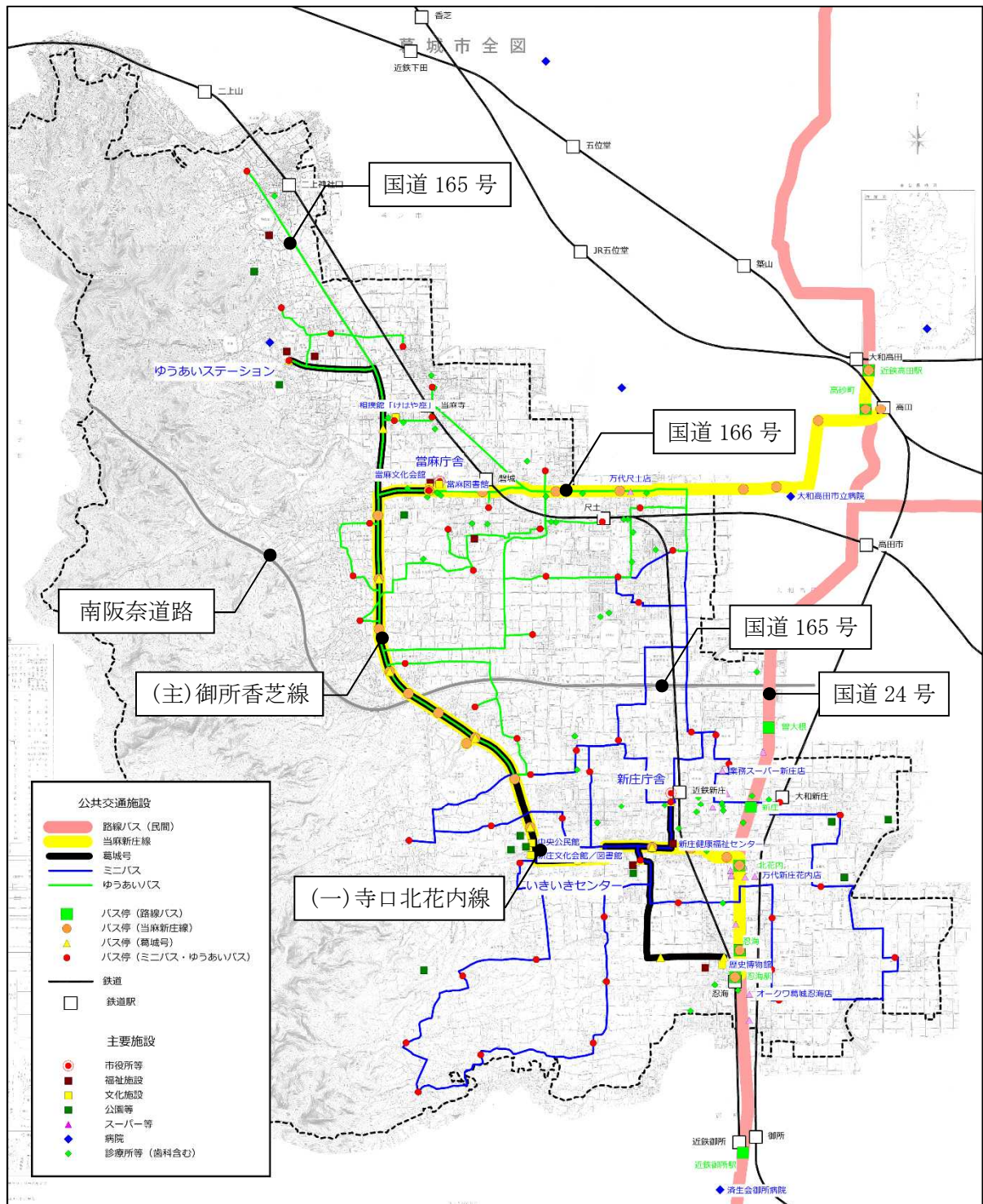
また、福祉施設、文化施設などの公共施設も国道24号、国道166号、御所香芝線、寺口北花内線で構成される市内環状道路沿線に、多く立地している。

### ■ 生活利便施設

スーパー等の生活利便施設は、国道24号と国道166号沿線に集中して立地している。

### ■ 医療機関

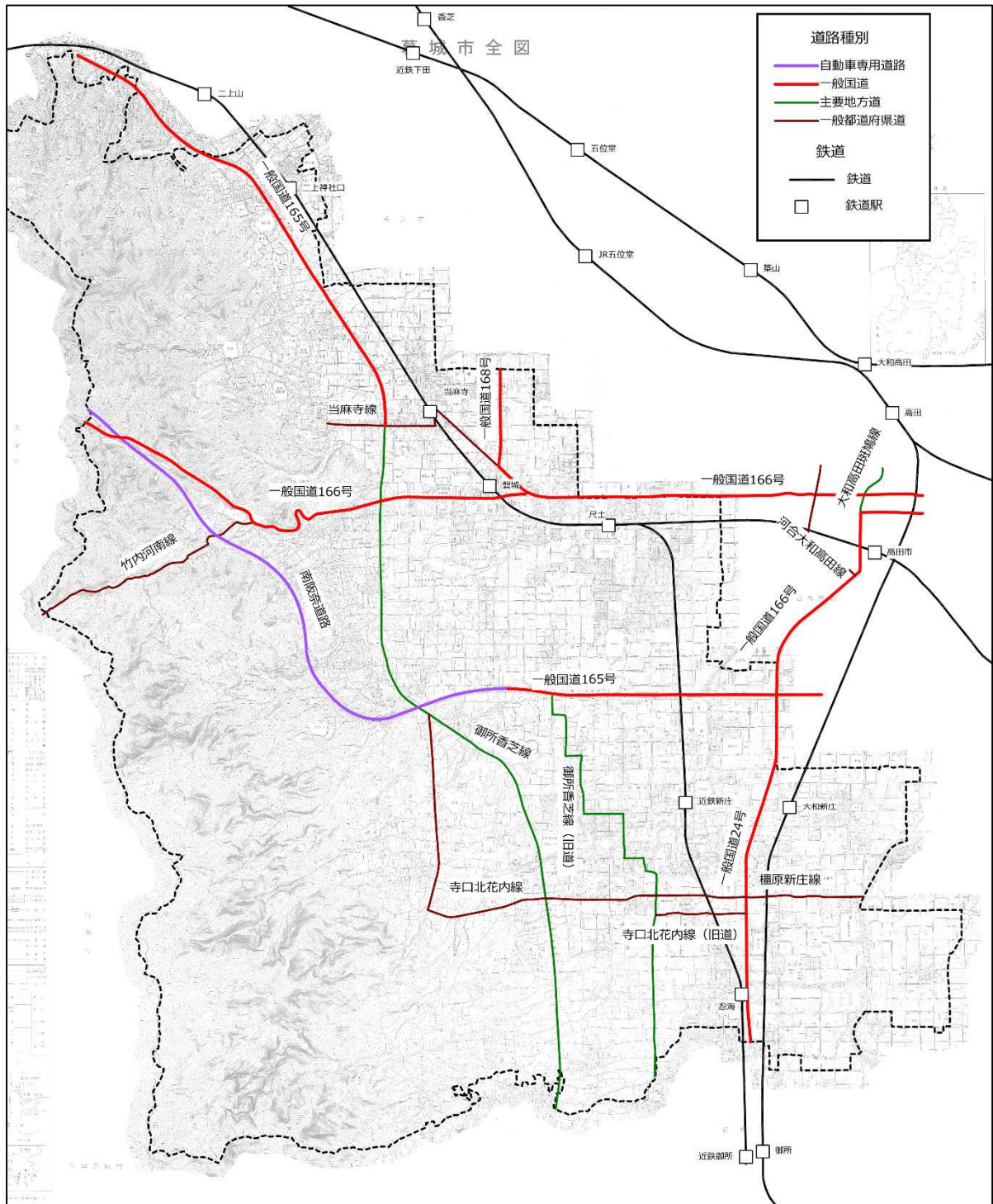
市内の医療機関は、市内環状道路沿線や鉄道駅周辺に多く立地している。また、近隣自治体の総合病院は、大和高田市の大和高田市立病院、御所市の済生会御所病院がある。



葛城市内の主要施設分布状況

### (3) 道路ネットワーク

市内の幹線道路網は、南北軸として一般国道 24 号、165 号、御所香芝線、東西軸として南阪奈道路、一般国道 165 号、166 号、寺口北花内線が通過しており、これらの路線による格子型幹線道路網が形成されている。



葛城市の道路ネットワーク

## 1.2. 公共交通の現状

### 1.2.1. 公共交通の配置

#### ■ 鉄道

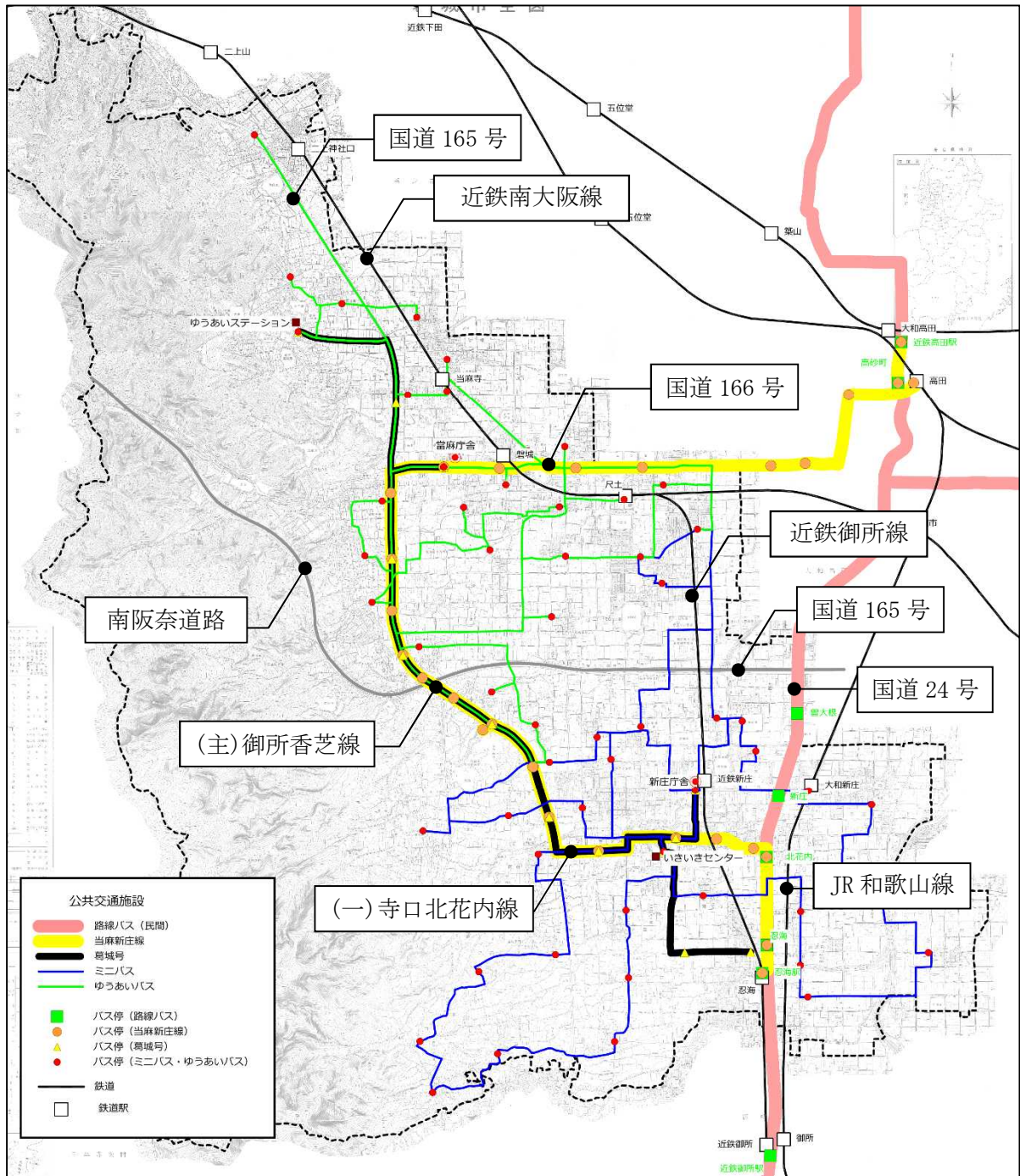
鉄道網は、JR 和歌山線および近鉄南大阪線、近鉄御所線が市東部を南北に通っており、鉄道駅は JR 駅 1 駅、近鉄駅 6 駅が存在する。

#### ■ 路線バス

市内の路線バスは、①「八木新宮線」、②「近鉄高田駅－五條バスセンター」、③「近鉄高田駅－忍海駅」の 3 路線があり、市内区間は国道 24 号を利用する 2 経路ある。いずれも奈良交通株式会社が運行している。

#### ■ コミュニティバス

従前からの公共バスである「葛城号」、「ミニバス」、「ゆうあいバス」は市庁舎、いきいきセンター、ゆうあいステーション等を起点とした往復あるいは循環路線として、無料で運行している。また、平成 26 年 10 月より「当麻新庄線」が公共バスとなり、奈良交通株式会社に委託し、有料で運行している。



葛城市の公共交通網の概要



## 1.2.2. 公共交通の運行状況

### (1) 鉄道の運行状況

#### a) ダイヤ

朝、夕の通勤・通学（7時～9時）、帰宅時間帯（17時～21時）では、JR和歌山線で1～3便/時、近鉄南大阪線で7～9便/時、近鉄御所線で4～5便/時が運行されている。なお、高齢者の移動のニーズが高いと想定される昼間の時間帯（9時～17時）には、JR和歌山線で1～2便/時、近鉄南大阪線で7～8便/時、近鉄御所線で4便/時が運行されている。

また、奈良市中心部までの所要時間は約60分、大阪都心部（大阪阿部野橋駅）へまでの所要時間は約35分となっている。

鉄道の運行状況

運行主体	西日本旅客鉄道（JR西日本）	
路線名	JR和歌山線	
駅名	大和新庄（やまとしんじょう）	
方面	五条・橋本方面	高田・王寺方面
便数	22 便/日 普通22便	22 便/日 快速1便+普通21便
始発	6:12	6:20
最終	23:29	22:18
所要時間 (快速)	五条まで 約 30 分	奈良まで 約 60 分
運賃	五条まで 410円	奈良まで 580円

運行主体	近畿日本鉄道株式会社		
路線名	近鉄南大阪線	近鉄御所線	
駅名	尺土（しゃくど）		
方面	大阪阿部野橋方面	橿原神宮前・吉野方面	近鉄御所方面
便数	136 便/日 <small>特急27便+急行等74便+普通35便</small>	137 便/日 <small>特急28便+急行等66便+普通43便</small>	76 便/日 普通76便
始発	5:29	5:31	5:36
最終	23:48	0:15	0:16
所要時間 (急行等)	大阪阿部野橋まで 約 35 分	橿原神宮前まで 約 8 分	近鉄御所まで 約 8 分
運賃	大阪阿部野橋まで 560円	橿原神宮前まで 260円	近鉄御所まで 210円

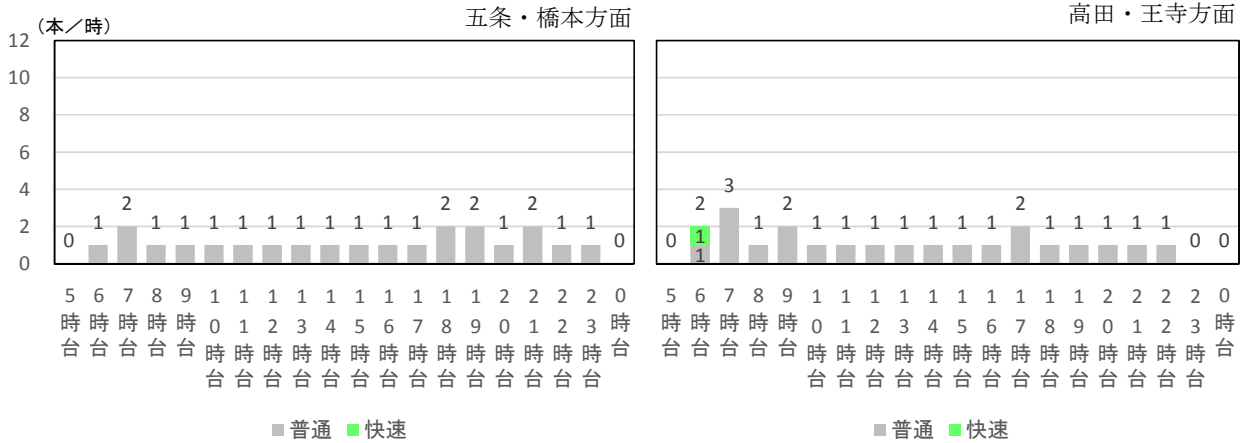
運行主体	近畿日本鉄道株式会社	
路線名	近鉄御所線	
駅名	忍海（おしみ）	
方面	近鉄御所方面	尺土方面
便数	76 便/日 普通76便	76 便/日 急行等6便+普通70便
始発	5:42	5:22
最終	0:22	23:58
所要時間 (急行等)	近鉄御所まで 約 2 分	尺土まで 約 7 分
運賃	近鉄御所まで 150円	尺土まで 210円

※急行等：急行、区間急行、準急、快速

出典：JR西日本ホームページ（平成26年10月18日改正・平日ダイヤ）

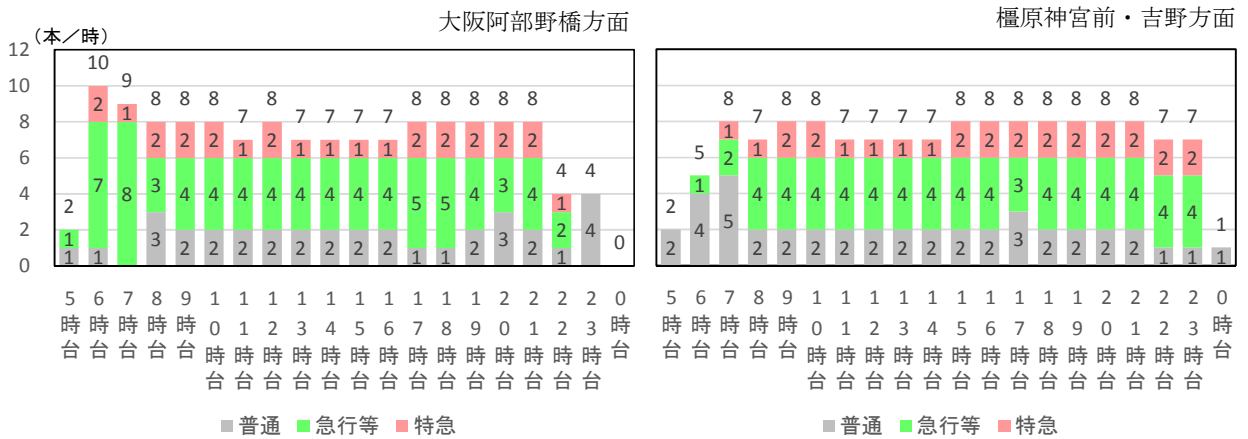
近畿日本鉄道ホームページ（平成26年9月21日改正・平日ダイヤ）

JR 大和新庄駅（JR 和歌山線）の時間帯別運行本数



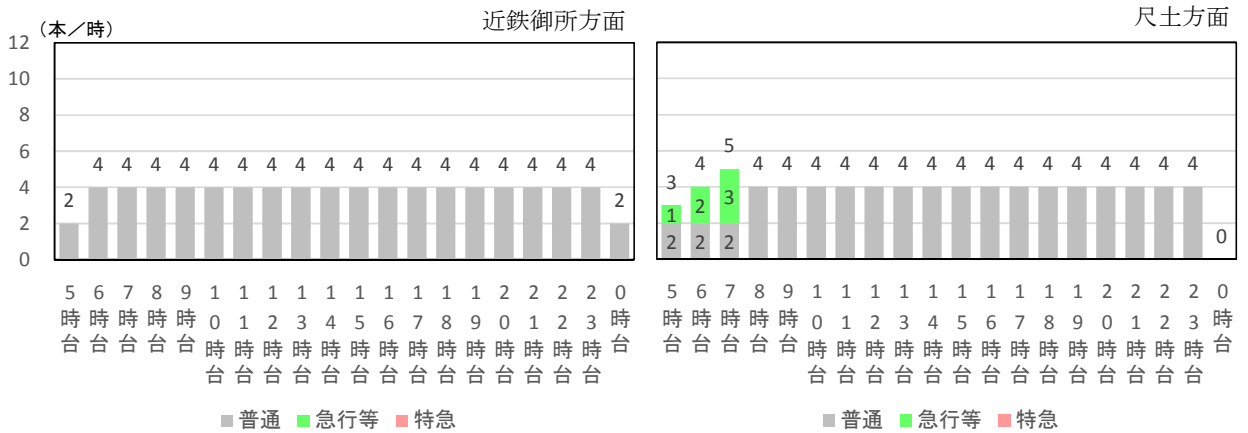
出典：JR 西日本ホームページ（平成 26 年 10 月 18 日改正・平日ダイヤ）

近鉄尺土駅（近鉄南大阪線）の時間帯別運行本数



出典：近畿日本鉄道ホームページ（平成 26 年 9 月 21 日改正・平日ダイヤ）

近鉄忍海駅（近鉄御所線）の時間帯別運行本数

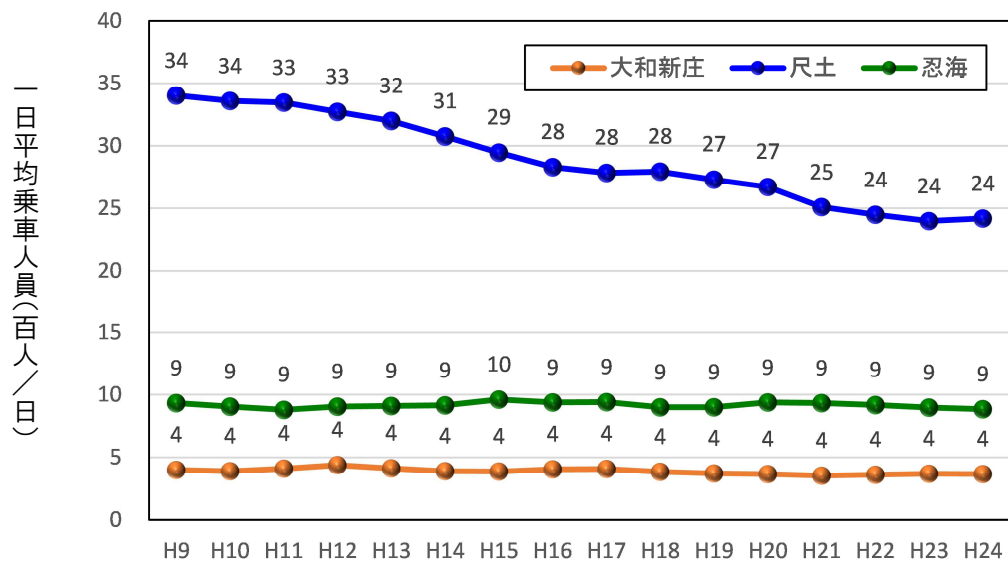


出典：近畿日本鉄道ホームページ（平成 26 年 9 月 21 日改正・平日ダイヤ）

b) 乗車人数

近鉄尺土駅の一日平均乗車人員は平成 24 年度で約 2,400 人/日が利用している。一日平均乗車人員の推移を見ると、平成 9 年以降、減少傾向で推移している。

また、JR 大和新庄駅、近鉄忍海駅の一日平均乗車人員は平成 24 年度で、それぞれ約 400 人/日、約 900 人/日が利用しており、両駅とも平成 9 年以降、横ばい傾向で推移している。



市内鉄道駅の一日平均乗車人員

出典：奈良県長期時系列統計データ（奈良県統計課）

## (2) 路線バスの運行状況

### a) ダイヤ

市内を通過する路線バスは、①「八木新宮線」、②「近鉄高田駅－五條バスセンター」③「近鉄高田駅－忍海」の3路線がある。なお、①「八木新宮線」は、日本一長い路線バスとして広域運行されていることから便数も少なく、運行時間もほぼ昼間時間帯のみとなっている。このため、地域の足としての機能は、②「近鉄高田駅－五條バスセンター」③「近鉄高田駅－忍海」が担っている。

### 路線バスの概要

運行主体		奈良交通株式会社								
路線名		①八木新宮線			②近鉄高田駅－五條BC			③近鉄高田駅－忍海		
系統		特急・160			60・70・76			62		
方面		新宮駅	八木駅	往復計	五條BC	近鉄高田駅	往復計	忍海止	近鉄高田駅	往復計
主な利用道路		国道24号	国道24号	国道24号	国道24号	国道24号	国道24号	国道24号	国道24号	国道24号
往復 便数 (便/時)	朝	0	0～1	0～1	0～2	1	1～3	1	1～2	2～3
	昼	0～1	0～1	0～2	0～1	0～1	1～2	0～1	0～1	0～2
	夕	0	0	0	1	1	2	0	0	0
	全日	3便/日	5便/日	8便/日	10便/日	12便/日	22便/日	7便/日	8便/日	15便/日
始発		9時台	7時台	—	7時台	6時台	—	7時台	7時台	—
最終		14時台	16時台	—	20時台	21時台	—	22時台	10時台	—
行先		五條BC	八木駅	—	五條BC	近鉄高田駅	—	忍海止	近鉄高田駅	—
時間		33分	30-35分	—	31-39分	17-18分	—	17-18分	17-18分	—
運賃		760円	530円	—	760円	330円	—	330円	330円	—

(注) 朝：7:00－9:00 昼：9:00－17:00 夕：17:00－19:00

(注) 五條BC：五條バスセンター

出典：奈良交通株式会社ホームページ（平成26年10月1日改正・平日ダイヤ）

### (3) コミュニティバスの運行状況

#### a) ダイヤ

葛城市のコミュニティバスは、「葛城号」、「ミニバス」、「ゆうあいバス」及び「当麻新庄線」の4路線ある。このうち当麻新庄線のみ有料で、その他3路線は無料運行である。

葛城号は、歴史博物館とゆうあいステーションを結び、御所香芝線を主路線とした往復型路線で、往復8便/日、片道35分程度で運行している。

ミニバスは、いきいきセンターと新庄庁舎を拠点とした循環路線で、4ルートが運行されている。各ルートとも3便/日、循環1回あたりの所要時間は30分程度である。

ゆうあいバスは、ゆうあいステーションと当麻庁舎を拠点とした循環路線で、6ルートが運行されている。各ルートとも2便/日および最終1便はゆうあいステーションからの送り便、循環1回あたりの所要時間は、拠点施設から近いエリアで30分程度、遠いエリアで60分程度である。

最後に、当麻新庄線は、平成26年10月に路線バスより公共バスへ変更して運行されており、近鉄高田駅と忍海駅を結び、国道166号、御所香芝線を主路線とした往復型路線で、16便/日、片道40分程度で運行している。

#### コミュニティバスの概要

運行主体	葛城市			
路線名	葛城号	ミニバス	ゆうあいバス	当麻新庄線
便数	平日 8便/日	各コース 平日 3便/日	各コース 平日 2便/日 (最終(第3便)はゆうあいステーションからの送り便)	平日 16便/日
タイプ	往復	循環	循環	往復
起終点	ゆうあいステーション 歴史博物館	いきいきセンター 新庄庁舎	ゆうあいステーション 当麻庁舎	近鉄高田駅 忍海駅(屋敷山公園前)
ルート	1ルートのみ	① 笛吹ルート ② 寺口ルート ③ 疋田ルート ④ 笛堂・萱ルート	① Aルート ② Bルート ③ Cルート ④ Dルート ⑤ Eルート ⑥ Fルート	1ルートのみ
主な 経由地	いきいきセンター 新庄庁舎 当麻庁舎	① 平岡西広場 ② 寺口駐車場 ③ 東和苑コミセン ④ 笛堂ふれあい広場	① 当麻寺駅前 ② 加守消防池 ③ 尺土公民館 ④ 南今市公民館 ⑤ 大畑 ⑥ イトーピア集会所	当麻イトーピア 磐城駅 尺土駅 高田市立病院前 JR高田駅西口
発車 時刻	ゆうあいステーション発 10:00 11:25 14:30 15:55 歴史博物館発 9:20 10:45 13:40 15:15	① 8:20 11:13 14:58 ② 8:59 11:52 15:37 ③ 9:45 13:30 16:23 ④ 10:17 14:02 16:55	① 8:40 12:05 16:00 ② 9:20 12:50 16:30 ③ 10:10 13:35 16:30 ④ 8:40 12:05 16:00 ⑤ 9:40 13:05 16:30 ⑥ 10:25 13:50 16:30	近鉄高田駅発 8:25 10:37 11:51 14:10 15:35 16:50 18:15 19:29 忍海駅(屋敷山公園前)発 6:43 7:49 9:35 11:10 13:22 14:43 16:13 18:47
所要時間	約35分	約30分	約30-60分	約40分
運賃	無料			有料(距離制) 190~580円

出典：葛城市ホームページ(平成26年10月時点)

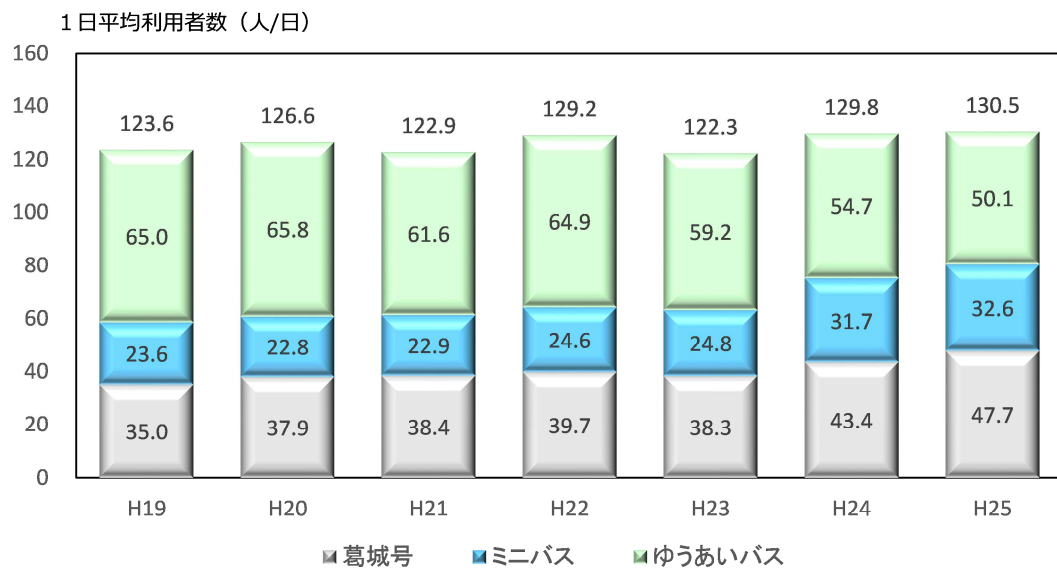
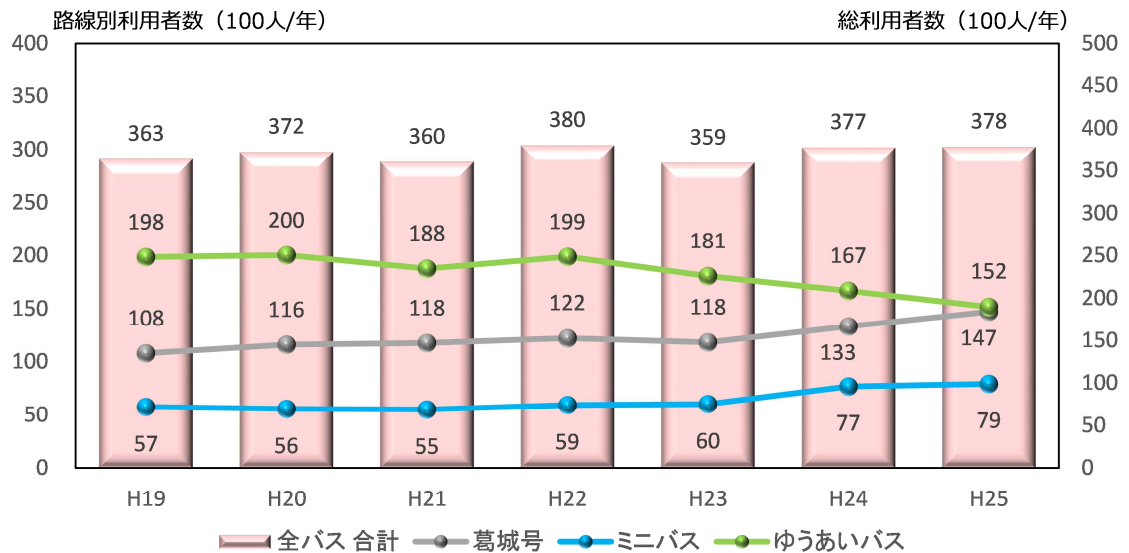
b) 乗車人員

平成 25 年度のコミュニティバス利用者数は、「葛城号」、「ミニバス」、「ゆうあいバス」の 3 路線で年間約 38,000 人、1 日平均で約 130 人が利用している。

※参考：当麻新庄線の 1 日平均利用者数は約 50 人（平成 26 年 10 月～12 月間の平均）

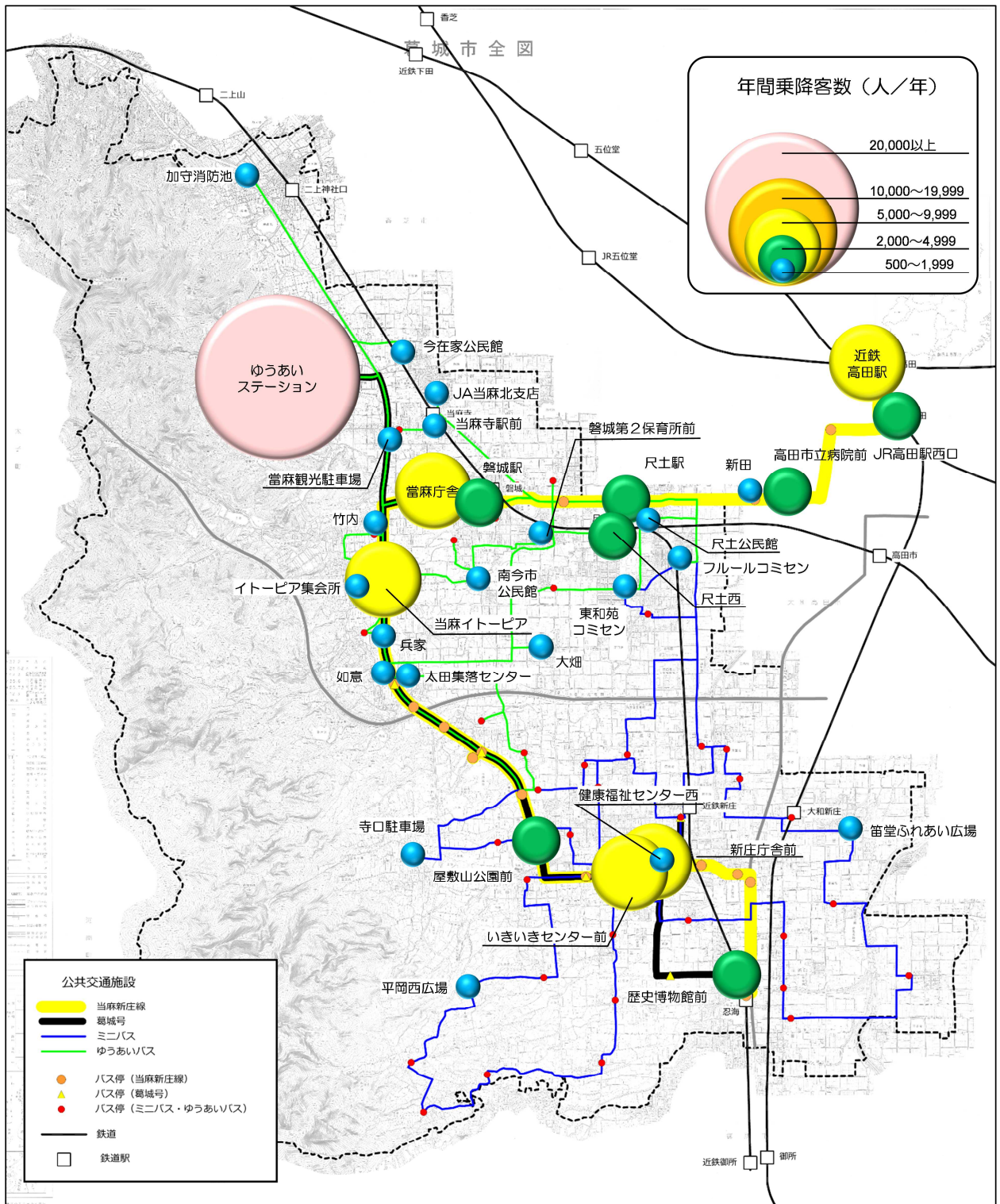
合計した利用者数の推移を見ると、横ばい傾向で推移している。路線別で見ると葛城号、ミニバスは近年増加傾向、ゆうあいバスは平成 23 年以降減少傾向で推移している。

また、バス停別にみると、福祉施設（ゆうあいステーション、いきいきセンター前）や市役所庁舎（新庄庁舎前、當麻庁舎）、近鉄高田駅、イトーピア集会所で乗降者数が多い。



コミュニティバスの乗車人員の推移

出典：葛城市資料



コミュニティバスのバス停別乗降者数

出典：葛城市資料

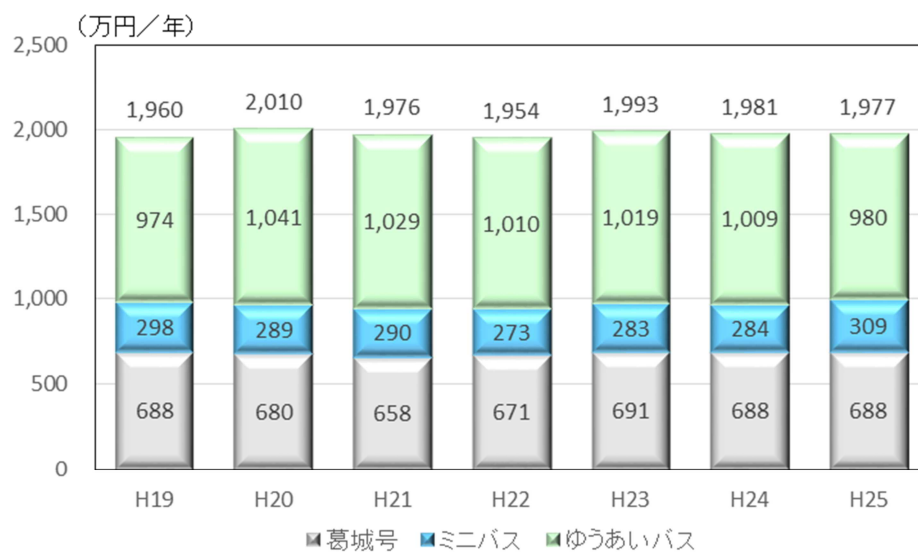
注 1) 年間乗降客数 500 人/年以上のバス停を表示

注 2) 葛城号、ミニバス、ゆうあいバスは平成 25 年度実績値 (H25. 4~H26. 3) を使用

注 3) 当麻新庄線は H26. 10~12 実績値を年間換算した推計値を使用

c) 運行経費（委託費）

コミュニティバス（葛城号、ミニバス、ゆうあいバス）の運行経費は合計で年間約2,000万円であり、ほぼ横ばいで推移している。



コミュニティバスの委託費の推移

(注) 当麻新庄線は平成26年10月より公共バスとなったため集計対象から除外している

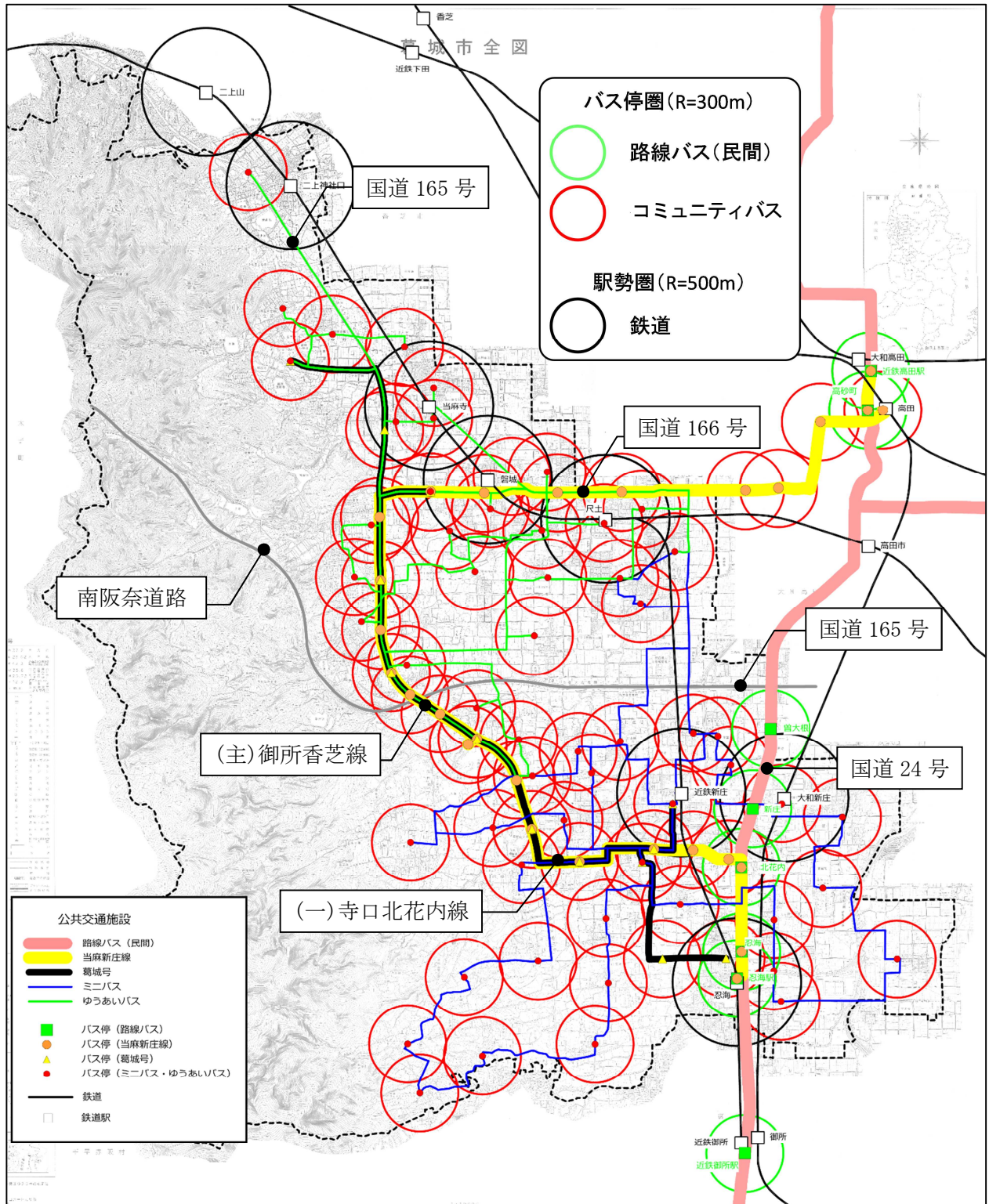
出典：葛城市資料



### 1.2.3. 公共交通空白地域

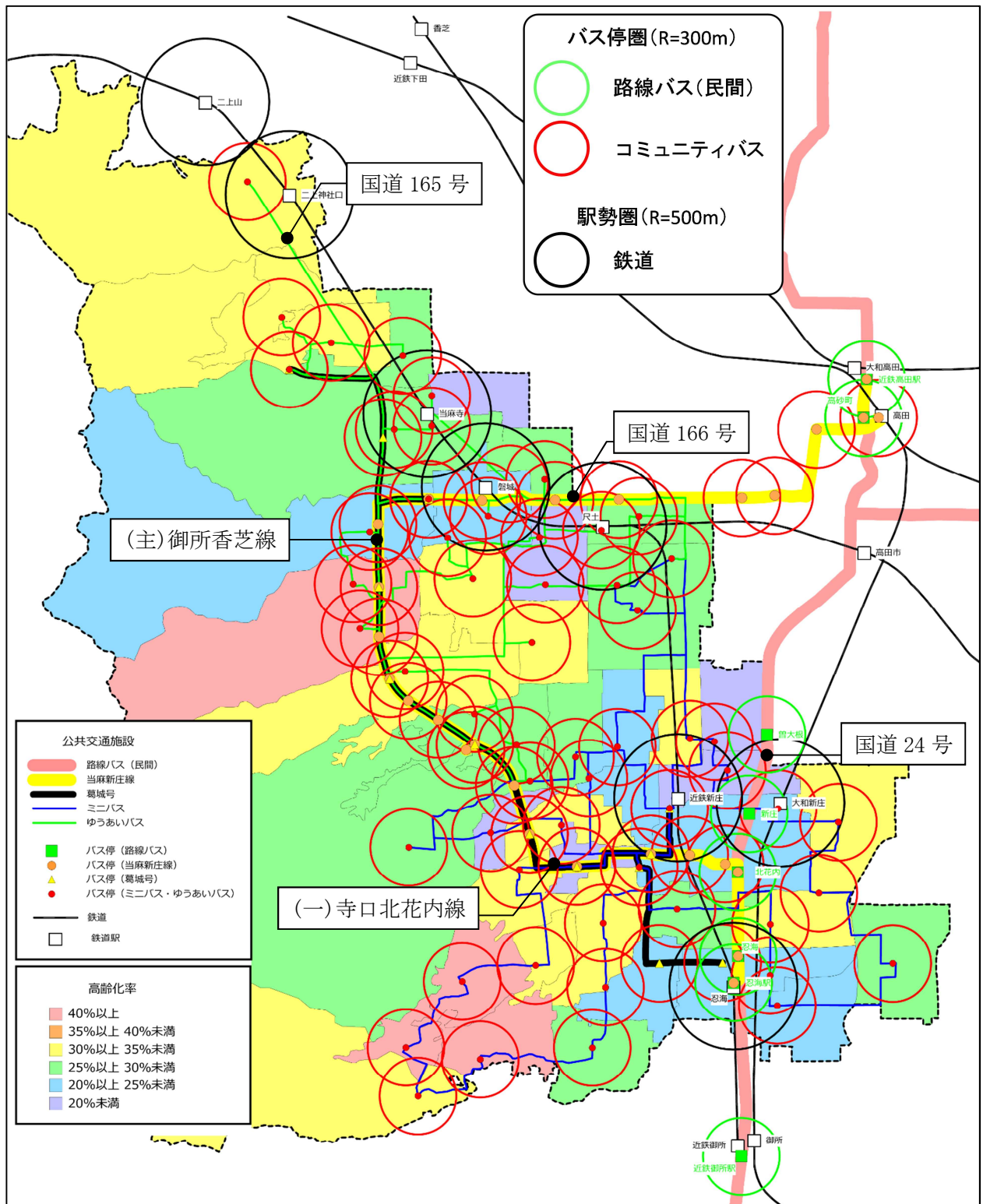
路線バスとコミュニティバスのそれぞれのバス停から 300m の圏域の円、鉄道駅から 500m の圏域の円を描き、それ以遠の地域を「公共交通空白地域」とした。

その結果、市内のほとんどの居住地は、概ね円内に含まれている。なお、一部、空白地域となっている場所も見られる。



公共交通空白地域 (バス停 300m・鉄道駅 500m 圏外)

■参考2) 公共交通空白地域 (バス停 300m・鉄道駅 500m 圏外) の高齢化率



公共交通空白地域 (バス停 300m・鉄道駅 500m 圏外) の高齢化率